



光の速さで成長する方法

こんなメールをもらいました。

AUNさん、Wです。いつも興味深いメールをありがとうございます。

私は最近、アウンさんを目指してコンテンツビジネスをはじめました。はじめましたと言いましてもまだ何も実績もありません。無料のブログを立ち上げただけです。しかし、私はこれで食べていけるくらいまでに真剣に取り組むつもりです。

アウンさんの直接指導を受けられるということで、今からテンション上がりまくっています。半年間どうぞよろしくお願いします。無料ブログを立ち上げたと言いましたが、近々メルマガもスタートさせるつもりですが、まずはブログを中心に情報発信をしていきながらアウトプットしていきたいと思います。

すでに十数記事ほど書き上げましたが、しかしすでに書くネタが尽きてしまい、今日初めてタイピングの手が止まってしまいました。これまで書いた記事も、あらかじめ内容が決まっていたものです。

アウンさんはどのようにしてアウトプットをされているのでしょうか？書くネタが尽きて困るという事はありませんか？また現在でなくても、そのような時期はありましたか？もしありましたのなら、どのように乗り越えられたのでしょうか？

これは私だけでなく、これからコンテンツビジネスに取り組もうとする者が当たる壁ではないかとも思うのです。ぜひとも効果的なアウトプットの方法がありましたらご教授いただけませんか。

・・・もう言う必要もないと思うのですが、「俺はコンテンツビジネスになんて興味ないぜ？」というレベルの話ではありません。もっと広く捉えて聞いてくださいね。この話をスルーするのは勿体無いです。

最短・最速で成長するための方法論やマインドセット

について話すつもりなのでから。

【目次】

1. 光の速さで・・・
2. 良質なアウトプット
3. 究極のアウトプット・マインドセット

1. 光の速さで・・・

それですまず思ったのは、このWさんの文中には、随所に「アウトプット」という単語が出てきてるんですよ。説明するのに丁度いいので、今回は「アウトプット」という言葉をキーワードにしたいと思います。

ただこのWさん、正直、たぶんアウトプットの意味というか、理解がまだ薄いんじゃないかと思うんです。ビジネスや成功哲学や自己啓発の世界では

よくアウトプットの重要性が言われていますが、そもそもアウトプットってなんだ？という人もいると思うので軽く説明するのですが、

アウトプット＝出力

です。

アウトプットとは、「出力」することです。そのままなのですが、これは単純に“書く”とか“喋る”とか、そういう行為に該当します。あとはまあ、“表現する”とか“体現する”とか、そんな感じですね。とにかく、外部に対して「出す」行為がアウトプットなんだ、と。とりあえずこんな感じで思っただけでもらえれば大丈夫だと思います。

じゃあなんでアウトプットが重要なのか？という話ですが、たとえば、どんなに本を読んで勉強しても、それを日常生活に活かさないと意味がありません。

アウトプット（出力）しないと現実は何も変わらない

のです。

結果が欲しいなら、アウトプットは欠かせない行為

なのです。

ここまでのいいでしょうか？

「出力する」事なわけだから当然、「入力（インプット）」がその前に来ないと成立しないわけですよ。凄く基本的で根本的な話なんですけど、ここで一つWさんに質問したいんですよ。

「そもそもインプットは十分にしていますか？」と。

Wさんがどんな市場で、どんな人の役に立つ情報を発信していこうとしているのかはわかりません。わかりませんが、少なくともその市場でビジネス成立させようとしているわけですよね。じゃあ

- ・その市場に関する知識が十分であること、
- ・もしくは日常的に学習をしていること

は最低条件です。ただの趣味ブログじゃないわけですからね。

“そもそものインプットが足りていない”

ずいぶん単純な話ですが、これが「人の役に立つ情報(文章)なんて書けない」「自分に書ける事なんてない」「俺は文章を書くのが苦手だ」とか言っている人がまず目を向けないといけないポイントなんです。そんなこと言う前にやることたくさんあるよって話です。Wさんがそうだという話ではなくて、「アウトプット、アウトプットと言っている人ほど、そもそものインプット量が足りない傾向にある」という事を言いたいわけです。

逆に、インプットばかりしてアウトプットしない人も多いですね。俗に言う自己啓発ヲタクとか、成功哲学ヲタクとかそんな風に呼ばれている人たちの事を言っているわけですが。

いずれにしてもみんな、インプットとアウトプットのバランスが取れていないと言うか、効率が悪すぎるなあと、見ていて感じます。

ということで、これから

僕が日常的にやっているアウトプットの仕方をシェア

するのですが、たとえば誰かのメルマガや教材や本で学習しますよね。そんな事をしていると、「このスキルやマインドは自分のものにしたい」と思うものや、「これをシェアすると読者さんや会員さんは喜ぶだろうな」と思うものが次から次へと出てくるわけですよ。

そして、そういうものに関しては

できるだけ早く、誰かに「教える」

ようにしています。

わざわざ「」をつけたのはどういうことかという、あくまで「教える」というスタンスが重要だからだと思っているからです。さも自分の知識やスキルであるかのように、教えてあげてください。

ここがすごく重要で、「インプットした情報を誰かに伝える」となった時、多く人はまるでコピーするように伝えようとするわけですよ。違います。全然ダメですね。それじゃあアウトプットの質は上がらない。

僕は常にこんな風に考えながらアウトプットを心がけています。

「どう説明すればわかりやすいだろうか？」

「どう表現すれば自分の色がでるだろうか？」

「どう言えば楽しんで最後まで聞いてくれるだろうか？」

「自分ならどう説明されたら嬉しいだろうか？」

「どんな例え話を出されたら腑に落ちるだろうか？」

「どうやって読み手のテンションを上げてやろうか？」

いいですか？

仕入れた情報を仕入れた状態のまま伝えるだけなら、別にあなたじゃなくてもよくないですか？「他の誰か」でもいいんですよ。常に、「あなたじゃなきゃいけない」理由を考えるようにしてください。

人に尊敬される人、人に重要視される人、人の記憶に残る人、魅力的だと思われる人。・・・こういう人は、常にこういう事を考えています。コンテンツビジネスをやるのなら特にこのマインドは重要です。

それで「インプットした情報はできるだけ早く誰かに教える」という事ですが、じゃあどうやって誰かに「教えている」のかと言うと、それは自分の持っているメディア（媒体）に決まっています。僕だったら、メルマガやブログ、LINE、教材、通信講座など。もちろん直接会って喋るのが一番なので、セミナーや勉強会、コンサルなどでも積極的に行うようにしています。

友達と喋る時も常にこういう事を意識していますね。意識しているというか、それが当たり前になってしまっているので、「無意識で」という事になるのでしょうか。

Wさんで言えば、ブログというメディアがあるわけですね。「僕にはメディアがありません」というわけのわからない質問が来ても困るので一応言っておくのですが、「なきゃ作れよ」、という話です。ブログなんていくらでも無料で開設できるし、「まぐまぐ」をつかえばメルマガも無料で発行できます。

あとは僕のように、人とコミュニケーションするときは常にアウトプットを意識してみてください。これをやりはじめると驚く程変わります。

光の速さで

・・・は大袈裟かもしれませんが（苦笑）、最速・最短で成長したいなら、

もうこの方法しかないと思います。

それと、先述しましたが、「できるだけ早く」とも言っていますよね。

“できるだけ早く”

です。

“新鮮な、生の刺身で食べられるうちに！”というイメージで、できるだけ早くアウトプットするように心がけてください。なぜかというと、単純に忘れるんですよ。「ならメモすればいいじゃん」と思うかもしれませんが、そうじゃないんです。まあメモすればいいんですが、その瞬間の臨場感やインスピレーションまでを引き継ぐことは難しいと思います。

僕は、この手の感覚をととても大事にしています。だってコミュニケーションですよ。時間が経てば経つほどアウトプットの質は下がってくるとリアルに感じてしまうのです。

鮮度が落ちないうちに、なるべく早く。

・・・このようにして行うアウトプットこそが、凡人（か、それ以下）だった僕が比較的早いスピードでここまで成長できた理由の一つです。僕の中では常に、良質なアウトプットが日常的に行われているのです。

・・・と偉そうに言ってみるのですが、やっぱり時間がない関係から、アウトプットの案件（メルマガやブログのネタ）が溜まりすぎている現状です。吐き出したいけどしょうがないといった状況ですね。

いずれにしろ、「書くネタがない」とか、「会話の内容が見つからない」とか、マジで有り得ないです。今日の話をも十分に理解して、そして実践してもらえればわかることです。

2. 良質なインプット

「普段から何気によく言われるのだけど、実は、言われると結構腹が立つんだよね」

あなたには、こんな言葉やセリフはありますか？
僕にはあります。正確には「ありました」なのですが。

以前は、言われる度にかなりムカついていましたが、今となっては別に腹も立たなくなった、そんな言葉があります。未だによく言われる言葉です。・・・こんな言葉たちです。

「あなたは自分の過去を卑下するけど、普段あなたの口から出てくるような過去の人物像を今のあなたから見ることはできないよ」

「本当は凡人でもそれ以下でもなくて、最初からある程度デキるやつだったんじゃないかねえの？」

「今とのギャップを演出するために大袈裟に言ってるんだけなんじゃないかねえの？」

「吃音つつつても症状軽いやつで、別に生活に支障とかなかったんじゃないかねえの？」

・・・本当、好き勝手言うんですよみんな（苦笑）。以前は、この手の言葉を投げられると瞬間的にイラっとしていました。「ほんと、わかってないなこいつら」と。

で、言いたい事は山ほどあるわけですが、その中で一つだけ発言が許されるのであれば、

「こんだけ良質なアウトプットを何年も日常的にやってりやあ、そりゃ誰だって成長するわいっ」

と言ってやりたいです。

さっきお話した僕のアウトプットの考え方を持ってちゃんとやれば、成長しないとか、結果が伴わない、なんてことはありえないんですよ。それを考えると、僕は本当に遅い方だと思っています。

センスがある人ならもっと早く、そしてもっと大きな結果を出しているでしょう。実際に、センスがあって同じ事をやっている人はすごいです。正直、悔しいです。密かに、嫉妬しています。

ともあれ、凡人（か、それ以下）でも、良質なアウトプットを日常的にやれるような体質になれば、ポジティブな意味で、「この人は他とは違うなあ」と思われるような人間になることはできる、ということです。僕レベルでよければ、5年くらいでいけるでしょう。

そして、そう言われるような人間になった「結果として」あなたは、

魅力的な男女とすぐに仲良くなれて、
仲間から尊敬されて、
男なら女性が無視できない男になって、
ビジネスをやれば“お金”という形になって返ってくる

こういう現実を手に入れることができるわけですね。

“生きたい「自分の」人生を自由に生きる”

こんな未来が待っているということです。

そのためにも、先述したアウトプットの方法をもう一度咀嚼して、必ず自分のものにしてください。

続いて、これを頭に叩き込んでおいてください。

ただ闇雲なインプットからは、良質なアウトプットは生まれ ない

たとえば、以下のようなケースを見てどう感じますか？

1. 一生懸命テスト勉強をして試験に臨んだ。でも実は、まったくテストに出題されないような的外れなところばかり勉強していた・・・。
2. 一生懸命筋トレの勉強をして、読者さんにメルマガを流してアウトプットした。でもそういえば、自分のお客さんは筋トレになんて1ミリも興味がない女性客ばかりだった・・・
3. 「●●技能検定」という国家資格を取得するために勉強した。頑張って取得した。結果、その資格で食っていくことができないばかりか、就職活動の足しにすらならなかった。

・・・極端なケースだったかもしれませんが、これと似たような事はあらゆる人の見に起こっています。当たり前の話ですが、

あなたが時間と労力をかけて行うインプットは、あなたが望む最高の結果を想定した上でのインプット

である必要があります。

テスト勉強するのであれば、ちゃんと出題される箇所に目星をつけた上で勉強することです。「お客さんと信頼関係を作って売上をあげたい」のであれば、お客さんが望んでいる知識やスキルに焦点を絞ったインプットを意識しないとイケません。

また、あなたが心からやりたい事があって、それに共感してくれるファンを集めて、ビジネスとして成立させたいのであれば、そのやりたい事のエキスパートになるためのインプットを日常的にしていけないでしょう。

資格を取得するなら、その資格がちゃんと社会に求められているのかを前もって確認しておく必要があるし・・・と言うか、そもそも今時資格一つで食っていけるのか、というところに疑問をもたなきゃいけない。

こうして説明すると当たり前過ぎて笑っちゃいそうですが、さっきも言ったように、多くの方は事実こういうところで失敗しているわけです。最初から着地点を決めておけて話ですよ。

当たり前ついでに言っておきたいのですが、

“良質なインプットを常に心がける”

という視点もまた、皆、驚く程ごっそり抜け落ちていきますから。本当に、どうしようもないインプットをしている人が多いんです。どんなにインプットの焦点を絞っていても、インプットの質そのものがショボければ、ろく

なアウトプットが生まれません。

たとえば、実力も能力も低い塾講師に習った生徒というのは、どうしようもない結果しか出せないわけじゃないですか。ネットビジネスの情報教材を買って勉強した、と。一生懸命実践した、と。でも、買った教材が実はろくでもない詐欺商材でした、と。・・・結果は言うまでもありません。

ビジネスの勉強をするなら、最高の先生の、最高の教材を、できれば最高の環境で学ぶこと以上のものはありません。こうして言葉にすると当たり前な事を言っているようにしか聞こえないと思います。

でも、常に良質なインプットをするには、そののところがちゃんと「意識して」やらないといけませんよ。ボケっとしていると、所詮ゴミのようなりソースしか集まってこないのです。世の中には良質なリソースよりも、糞みたいなリソースの方が多いわけで。

ちゃんと自分の目で見極めて、出来る精一杯最高のものを選んだ上で、それをインプットのリソースにするということですね。これは、100%自分の責任です。

話をまとめると、

①あなたが望む（現実的な）最高の結果を想定した上で、

②良質なインプットを行い、

③そして最高に効率的なアウトプットに繋げる

ということです。

ここまでは、「言ってみれば当たり前のことだけど、意外と多くの人ができない盲点」を話してきました。そして、ここからの話はヤバいです。こ

れを理解しているかしていないかで、一瞬で、周囲との間に差が開いてしまいます。

3. 究極のアウトプット・マインドセット

さて。

- ①あなたが望む（現実的な）最高の結果を想定した上で、
- ②良質なインプットを行い、
- ③そして最高に効率的なアウトプットに繋げる

ここまでの理解だけでもかなりの成長が期待できますが、一番重要だと言えるのはここから、です。

世の中の成功者と言われる人間は大抵、今からお話するマインドセットを持っています。ただ、このマインドセット。多くの成功者は、無意識に持っ
てしまっているものだったりするため、言語化される事がほぼありません。

僕自身、人生大逆転劇を演じはじめた24歳の頃を堺に、これを幸運にも無意識のうちに身につけてしまいました。「究極の」とか、「一瞬で周囲に差を」とか、いろいろ派手な表現をしましたが、話を聞くと凄くシンプルです。もしかすると、「なんだそんなことか」などと思うかもしれませんが、すでにこのマインドセットを持っていて、それなりの成長と結果を経験している人が聞いたら、「ああ、そういう事ね」と心の中で微笑んだりスッキリしたりすると思います。

たとえば僕のように、「人生逆転してやる」という強い想いや、それに伴う

大きなパラダイムシフトがあったり、起業を志すような人であったり、あるいは成功者と言われるような人。そういう人であれば大抵は、無意識にやっていることだったりするのです。

成功者は意地悪でシェアしていないわけではなく、無意識にやっているの
で、自分で気づいていないだけです。ただ、最近、ある起業家がそれを、上
手に言語化しているのをたまたま目にした事から、「ああこれは僕なりの表
現で伝えないといけないな」と思ったわけなのです。

聞けばとてもシンプルな成功法則ですが、身につければ、「究極の～」「一瞬
で周囲に差を～」が大袈裟ではないことがわかるはずです。

・・・

- ①あなたが望む（現実的な）最高の結果を想定した上で、
- ②良質なインプットを行い、
- ③そして最高に効率的なアウトプットに繋げる

この3ステップに、これからシェアするマインドセットを加えるだけで、
あなたの成長は周囲の誰よりも加速し、何周もの周回差をつけてしまうこ
とになります。僕自身、自分自身の成長の仕方が、周囲と比べると目で確認
出来るほどに、違和感を覚えてしまうほどに加速し出しました。

・・・あまり引っ張ってもあれなので結論から言いますが、

「出す」前提で生きろ！

ってことです。

「アウトプット＝出力」でしたよね。「出す」というのは、アウトプットの
ことです。アウトプット前提で生きろ、と。

・・・これだけでピンと来た人も中にはいると思いますが、ほとんどの人は意味がわからないと思います。

それで、今から言う質問に真剣に答えてください。「真剣に」答えてくださいね。

『あなたは今日、何人の人と言葉を交わしましたか？』

・・・答えられますか？

急に問われて瞬間的に記憶を辿ってはみるものの、答えられないことをすぐに理解すると思います。「僕はニートなので、ゼロです」みたいな人は知りません。そこまでは面倒見きれません。まあとにかく、「答えられない」というのが、普通に日常生活を送っている人の感覚です。

じゃあ、『明日また同じ時間に同じ質問をするので、何人の人と言葉を交わしたか数えておいてください』と予め言われていたとしたらどうでしょうか？

ちゃんと答えられるでしょう。中には途中でわからなくなってしまう人もいるかもしれませんが、正確な人数はさておき、記憶の辿り方次第では、大きくは外れないと思います。少なくとも、「答えられない」という結果にはならないでしょう。

これが、“「出す」前提で生きる”ということです。世の中の成功者と言われる人間や、成功者予備軍はみんな、このマインドセットを無意識のうちに持って生きています。マインドセットというよりも、「生き方」と言ったほうがいいかもしれません。

さっき、「人生大逆転劇を演じ出した 24 歳の頃を堺に、幸運にも無意識のうちに身につけてしまった」と言いました。その時の僕の頭の中がどうなっていたかと言うと、

「他人から評価されるためには、尊敬されるためには、一目置かれるには、人間としても男としても魅力的に見られるためには、どんな言動をすればいいだろうか？」

こんな感じです。

こういう意識を常に持っている自分がいました。すると、すでにそれを達成している人物——当時お世話になっていた社長やメンター、あとは日々出逢う魅力的な人たちを見るたびに、

「何か盗めないところはないかな？」
「あ、今の仕草はカッコよかったな」
「今の言葉は相手が心を開くだろうな」
「こういう喋り方をすれば魅力的に見えるのか」
「なるほど、そういう考え方なのか～」

こんなことばかり考えていました。

ストーカー並みに観察していた

のです。

また、コンテンツビジネスをはじめて、メルマガやブログなど、自分だけのメディアも持つようになってからは、

「自分自身のマインドや生き方をどんな具合に言語化すれば、読者さんや会員さんは共感してくれるかな？」

「どんな情報をシェアすれば喜んでくれるかな？モチベーションを上げてくれるかな？」

こんなことばかりを考えるようになりました。すると、生活すべてがアウ

トプットになってしまうわけです。また、アウトプットのベースが「自分自身の進化」や「読者さんの進化」なので、入れる情報の焦点も絞られます。

「白いものを5個言ってください」と言われてもなかなか出てきませんが、「冷蔵庫の中にある白いものを5個言ってください」と言われれば、「卵と大根と牛乳とチーズと、ニンニクだ！」ちゃんと答えられると思います。

誰かに情報をシェアする事が前提のアウトプットは、

焦点を絞るのがポイント

です。

他にもたとえば、生徒さんや部下を持つ指導者は、常に「彼らにシェアすると喜ばれることはなんだろう？」という事を考えながら日々を生きています。経営者であれば、「何をすれば従業員やお客さんが満足してくれるだろう？」という感じです。

仕事をしているときはもちろん、家族と過ごしていても、友達と遊んでいても、何をやってもそこにフォーカスされています。無意識です。無意識に、「出す」前提で生きているわけです。

よく、一人でニヤニヤしてたり、独り言を言ったりする人っているじゃないですか。そういうタイプって実は2種類いて、

1. 単純に気持ち悪い人
2. 出す前提で生きている人

に分けられるんですが、1の人は放っておくとして、2のタイプですね。こういう人は、「出す前提で」生きているからこそ、傍から見ると気持ち悪い事になってしまっているのです。「出している」少し未来の場면을勝手に想像して、入り込んで、ニヤニヤしたり独り言を言ったりしているのです。良

く言えば、

めちゃめちゃポジティブなイメージトレーニング

というわけです。

普通レベルでしか成長できない人は、「さあ、アウトプットしよう」と言っ
てアウトプットを始めているようなものです。一方で、恐ろしく成長が早
い人は、

“生きている事”そのものがアウトプット

になっています。

24時間、365日「出す」生活なんです。

『生きる=アウトプット』

なんですね。

出しまくっているんですよ。起きてる間はもちろん、寝てる間もアウトプ
ットしているようなものです。「さあ、アウトプットしよう」と言っている
人がたとえ1日2時間費やしていたとしても、“24時間、365日”の人に
適うわけがありません。

ちょっと5秒だけ考えて欲しいのですが、センスがある人の週3回1日2
時間と、凡人の24時間365日とでは、どちらの成長が早いと思います？
どちらが大きな結果を出せると思います？

後者ですよ。これが、凡人以下だった僕が“生きたい自分の人生を自由に

生きる”という、多くの人が憧れるライフスタイルを達成できた秘密です。

こういう「生き方」にシフトするだけで、他人と比べて劣等感を覚えたりとか、自信をなくして落ち込んだりとか、メルマガやブログに書くネタがないとか、そんな事が一切なくなります。成長することが、結果を出すことが、書く事が、ごく自然な行為になるんです。

何度考えても「光の速さで～」はやっぱり大袈裟ですが（苦笑）、でも、このタイトルにも々と違和感がなくなってきたんじゃないですか？・・・「YES」とあなたが言ってくれるなら、長々と話してきた甲斐があります。

「俺は凡人だから、、人から尊敬されるなんて・・・。人に影響を与えるなんて・・・。魅力的な男になるなんて・・・。コンテンツビジネスで結果を出すなんて・・・」

・・・さあ、どうします？

この話を聞いたからには、もう何を言っても言い訳にしかありませんよ（苦笑）。やるかやらないかは、あなた次第です。特に、自分自身の成長や進化に興味があるとか、明確な目標や夢ややりたい事が決まっているとか、コンテンツビジネスに取り組んでいるとか、そういう状況にあるのなら、やるしかないでしょう。

24時間、365日、出す生活です。大丈夫、全然辛くないですから。逆に、楽しくて楽しくて仕方ありません。

「出す前提で生きる」

この話がいまいち腑に落ちない場合、難しく感じてしまう場合、もっとシンプルに考えてください。たとえば、「ベンツが欲しいと思った瞬間、街中ベンツだらけに見えるようになった」みたいな事を言ってる人、見たことないですか？これは、ベンツが欲しいと心から思った瞬間から、ベンツに関

してのアウトプットが無意識に始まったということです。
ベンツじゃなくても、何かを欲しいと思った瞬間に、やたらそれが気になる、目に入ってくるという経験があるでしょう。要はそういう話です。

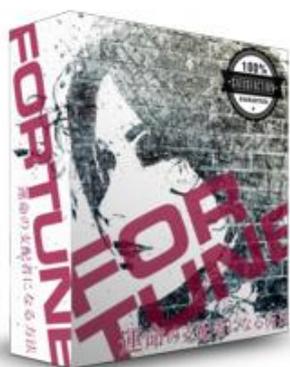
それを、自分やお客さんの成長や進化、夢や目標に焦点を合わせてみよう、
と言っているだけです。それだけで、あなたの成長は加速し出しますから。

例えば1年後、ボケーっと普通に生きている人とどれだけの差がついているか考えてみてください。恐ろしい差ですよ。これが2年、3年、5年、10年と続くとなると・・・

あなたからの成長の報告、楽しみにしています。
では、最後まで読んでくれてありがとうございました。

Arigato! ★ Aun

★このレポートを読まれたあなたにお勧めの製品



FORTUNE—運命の支配者になる方法—

自分に都合よく運命をコントロールし、望み通りの理想や成功を獲得
することを可能とする4つの奇跡の資質……

1. 他人の能力を最短・催促でパクる資質
2. 思考。妄想を忠実に現実化する資質
3. 結果が出るまで行動を継続する資質
4. 真実の成功習慣を見極め実行する資質

これら4つの資質を手に入れ、確実な進化と成功を手に入れてください。

▶ 製品の詳細はこちら

